

VI サプライチェーン

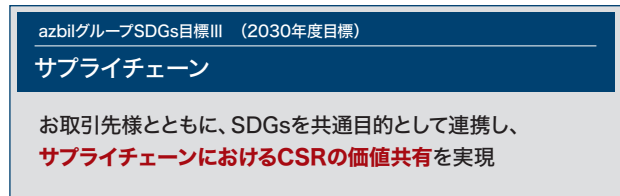
サプライチェーンへの取組み

基本的な考え方

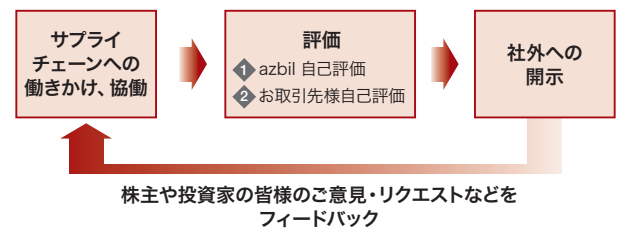
お客様、お取引先様とともに社会的責任を果たす

azbilグループは、グループ理念と行動規範に基づき、事業を通じて地球環境の保全をはじめとした持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを進めています。特に近年は、気候変動、人権問題への対応がますます重要視されています。

こうした背景に基づき、調達活動においては、お取引先様と長期にわたる信頼関係を築き、azbilグループおよびお取引先様双方の付加価値向上を図ることを基本に、SDGsをはじめとした国際社会から高まる要望を受け止め、より積極的にCSR（企業の社会的責任）を果たすべくサプライチェーンの取組みを強化し続けています。



PDCAサイクル

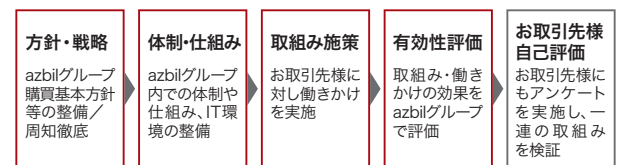


サプライチェーンでの取組み領域

azbilグループは、サプライチェーンにおける社会的責任を果たすために、2021年「azbilグループSDGs目標」の見直し・改定と併せて、外部機関のESG評価を採り入れた10対象領域(中分類)を設定しました。

この領域を対象として、環境、品質、コンプライアンス、健康経営等azbilグループが長年蓄積してきた知見を活用して、お取引先様への働きかけ、azbilグループおよびお取引先様の取組み評価等のCSR活動を推進しています。

以下の4つのアクションにそった取組みを、お取引先様とともに展開することで、サプライチェーン全体の環境／社会面での着実な改善を目指しています。



評価

azbilグループでは、10対象領域(中分類)で4つの項目による自己評価を実施しています。これに、お取引先様の自己評価を加えた計5項目で総合評価を行います。

この評価結果に基づき、azbilグループの取組み、およびお取引先様の強み・弱みを見える化し、翌年度の施策立案へとつなげています。

大分類	中分類	小分類
E (環境サプライチェーン)	気候変動 (GHG、エネルギー)	◆ CO ₂ /GHG 排出を含む気候変動課題への取組み ◆ グリーン調達
	汚染・資源 (大気、排水、有害廃棄物、廃棄物削減、原材料等)	◆ 製品含有化学物質管理 ◆ 資源利用の削減 ◆ 産業廃棄物の削減 ◆ 資源再利用 ◆ 再生可能エネルギー利用の促進
	水の安全保障・水リスク	◆ 水使用の削減、排水削減
	生物多様性	◆ 生物多様性保全
	環境マネジメント	◆ ISO14001に準拠した環境管理活動
S (社会サプライチェーン)	労働慣行	◆ 児童労働、強制労働の廃止、過重労働時間の削減 ◆ 差別の禁止、機会均等 ◆ ダイバーシティ推進
	健康と安全	◆ 健康と安全管理 ◆ 働き方改革、ワークライフバランス
	人権	◆ 基本的人権の尊重（反社会的勢力の排除、紛争鉱物対応を含む）
	コミュニティ (地域社会)	◆ 地域振興、社会貢献につながる活動
	品質、顧客	◆ 公正な商取引の遵守（法令遵守を含む） ◆ 品質マネジメント

大分類	中分類	azbilグループ自己評価				お取引先様自己評価
		方針・戦略	体制・仕組み	取組み施策	有効性評価	
E (環境 サプライ チェーン)	気候変動 (GHG、エネルギー)					
	汚染・資源 (大気、排水、有機 廃棄物、廃棄物 削減、原材料等)					
	水の安全保障・ 水リスク					
以下、省略						

※ (赤枠) ごとに、10点満点で評価実施。

※ お取引先様の自己評価結果(2022年度)はp83参照

2022年度以降の重点テーマ

azbilグループでは、サプライチェーンを通じて社会の要請にお応えするべく、社会面では人権デューデリジェンスを、環境面ではCO₂排出量削減を2022年度以降の重点テーマとして選定し、お取引先様への働きかけを開始しています。

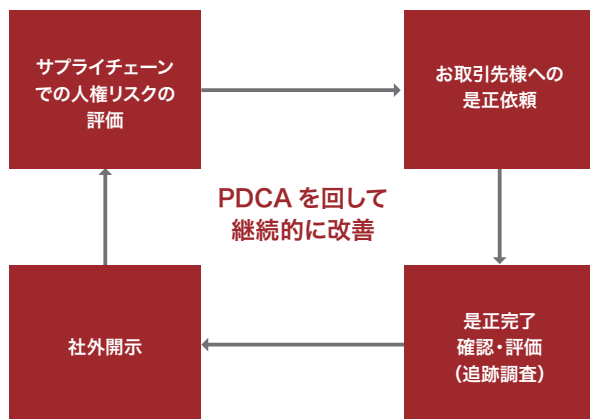
サプライチェーンでの人権デューデリジェンス：「守り」を固める施策

azbilグループでは、サプライチェーンにおいて人権尊重の観点で適正な企業活動が行われている状態を確保するために、人権侵害に関するリスク評価を行い、リスクが発生している場合には速やかに是正するよう努めています。

azbilグループでは、国連方針「ビジネスと人権に関する指導原則」を参照し、azbilグループの事業における発生頻度や影響度を考慮、先進他社事例も参考にしながら、サプライチェーンでの人権デューデリジェンスでの人権項目を設定しました。

2022年12月末現在、主要お取引先様約300社に対し、主要な人権項目について、人権侵害リスクがないことの確認を完了しています。現在は、対象範囲を拡大した取組みも進めています。

人権デューデリジェンスのプロセス



主要な人権項目

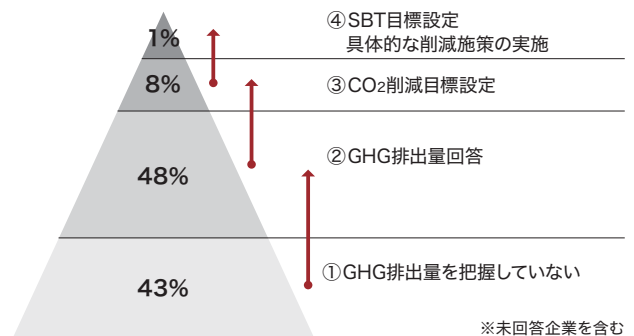
- ・ 児童労働の廃止
- ・ 強制労働の廃止
- ・ 過重労働時間の削減
- ・ 賃金(適正、未払い防止)
- ・ 移住労働・外国人労働者

サプライチェーンにおけるCO₂排出量削減：「攻め」を強化する施策

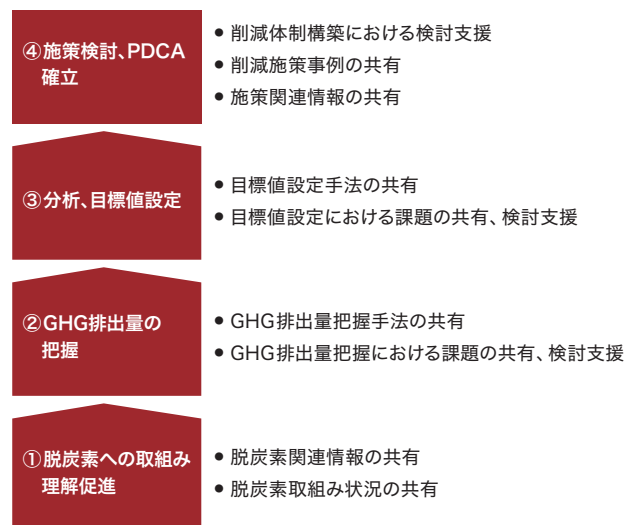
azbilグループでは、サプライチェーン全体でのGHG排出量削減(2017年度比20%削減)の実現に向け、お取引先様でのCO₂排出量削減を進めています。2022年12月末時点で主要お取引先様約300社のCO₂排出量の把握とCO₂削減取組みレベルの現状把握を完了し、お取引先様のレベルに応じた引上げ策を実施中です。

お取引先様とのコミュニケーションを通じて、取り組むべき課題や知見・ノウハウを共有し、課題解決に向けた取組みを共同で推進することで、カーボンニュートラルの自主的な取組みの推進とお取引先様間の知見・ノウハウのさらなる共有を進めます。

お取引先様約300社の実態



カーボンニュートラルに向けた取組みの進め方



サプライチェーンへの取り組み

お取引先様への働きかけ

「azbilグループ購買基本方針」に基づき、サプライチェーンにおけるSDGsの取り組みを進めています。お取引先様へも丁寧なコミュニケーションを通じて働きかけを行い、効果的な連携体制等の基盤を整備しています。

azbilグループ購買基本方針

azbilグループは、グループ理念とazbilグループ企業行動指針に基づき、法令の理解・遵守、人権・環境への配慮を含め、国内外において誠実かつ公正な購買活動を行っています。お取引先様にもazbilグループ購買基本方針をご理解いただき、サプライチェーン全体でCSRに配慮した購買活動に取り組んでいます。

1. 企業の公共性、社会的責任の遂行
2. 公正な商取引の遵守
3. 人権の尊重
4. 環境保護の推進



azbilグループ購買基本方針
<https://www.azbil.com/jp/corporate/procurement/policy/index.html>

azbilグループ購買基本方針を改定

azbilグループは、SDGsなど社内外の要請を整理し、国連グローバル・コンパクトの方針も踏まえ、2022年6月に「azbilグループ購買基本方針」を改定しました。

改定のポイント

- ・ サプライチェーン管理方針として追記すべき、気候変動対応、差別の禁止、過度な時間外労働・強制労働の排除、節水等の事項を追記
- ・ 当社が2021年4月に署名した国連グローバル・コンパクトにおいて重視されている人権についての事項を追記
- ・ azbilグループSDGs目標の一つ「全ての新製品を100%リサイクル可能な設計とする」に関連する環境配慮設計について追記
- ・ 環境保護目標の一つである生物多様性保全を実現するために重要な手段となる製品含有化学物質管理について追記
- ・ お取引先様の選定および継続契約時に反社会的勢力との関係に関する法令遵守の確認強化について追記

「azbilグループCSR調達ガイドライン」説明会の実施

お取引先様へのSDGs達成に取り組む動機付けと、具体的な取り組みを促進していくために、2022年にazbilグループ各社からお取引先様に向けて、SDGs目標の取り組みや「azbilグループCSR調達ガイドライン」についての説明会を実施しました。説明会後にはアンケートを実施し、90%のお取引先様がガイドラインの対象テーマに協力いただけるとの回答をいただきました。



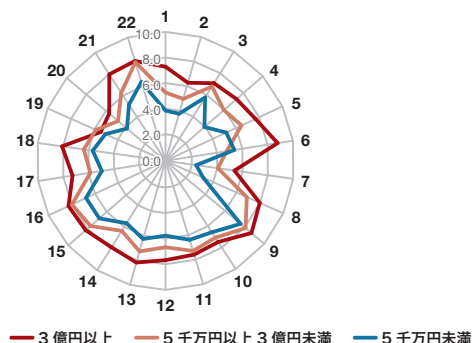
azbilグループCSR調達ガイドライン
https://www.azbil.com/jp/corporate/procurement/policy/csr_guideline/index.html

お取引先様自己評価の実施とお取引先様へのフィードバック

azbilグループは、毎年お取引先様に、SDGs視点での取り組みの自己評価をお願いしています。2021年度の評価結果に応じて、お取引先様ごとに取り組みが弱い点について改善をお願いしたところ、2022年度の自己評価では改善が進んだという結果が得られました。このフィードバックは今後も継続していきます。

また、お取引先様自己評価では、資本金による企業規模別に見ると、会社規模（資本金）が大きいほど取り組みが進んでいる傾向が示されていることから、今後は中小規模のお取引先様への働きかけを強化していきます。

お取引先様資本金別取り組み状況



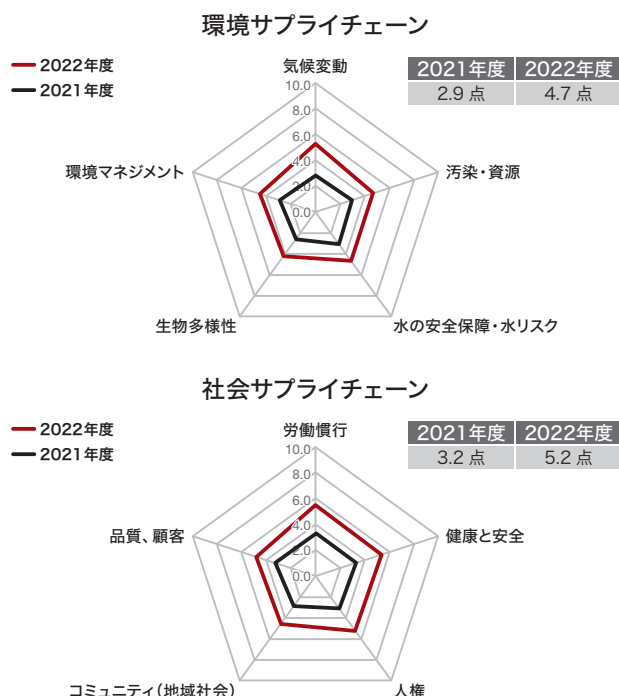
- | | | |
|--------------------------|---------------|--------------|
| 1 CO ₂ /GHG排出 | 9 過重労働時間削減 | 17 基本的人権の尊重 |
| 2 グリーン調達 | 10 強制労働禁止 | 18 反社会的勢力排除 |
| 3 製品含有化学物質管理 | 11 児童労働禁止 | 19 紛争鉱物対応 |
| 4 資源再利用 | 12 差別禁止 | 20 地域振興・社会貢献 |
| 5 産廃物削減 | 13 非人道的扱い禁止 | 21 公正な商取引 |
| 6 水使用削減 | 14 ダイバーシティ | 22 品質マネジメント |
| 7 生物多様性保全 | 15 健康と安全管理 | |
| 8 環境マネジメント | 16 ワークライフバランス | |

2022年度の評価と今後の計画

2022年度の活動の総合評価

azbilグループでは、自己評価基準に基づき、毎年、環境／社会の10対象領域（中分類）について、azbilグループの取組みにお取引先様自己評価を加えた総合評価を実施しています。

2022年度は、各種施策が奏功し、環境／社会サプライチェーン各項目ともに、2021年度に比べて総じて2点程度上昇しました。



2023年度への取組み

2023年度も、「守り」の施策としての「人権デューデリジェンス」、「攻め」の施策としての「CO₂排出量削減」を軸とした活動とし、azbilグループ全体で取り組むことで、より大きな成果を追求していきます。

また、2023年度は、お取引先様個社ごとの訪問やヒアリング、対話を拡充していきます。人権デューデリジェンス、CO₂排出量削減以外の社会面、環境面のテーマについても広く情報収集を行うことで、お取引先様の意向・ニーズを取り込み、コンセンサスを形成することにより、お取引先様への働きかけ・協働の有効性を今まで以上に高めていく計画としています。



SDGsサプライチェーン活動報告書

<https://www.azbil.com/jp/corporate/procurement/supplychain-annualreport/index.html>

お取引先様からのメッセージ

株式会社村田洋白商店 取締役 村田 好孝様



非鉄金属材料および加工部品の販売、輸出を主業とした商社。
azbilグループにはステンレス素材等を納入

azbilグループはSDGsテーマの展開にあたり、しっかりと推進体制をもとに中長期的な計画を立てており、丁寧にご説明いただいたことで私たちの理解も深まりました。弊社も、本業において環境面での付加価値をつけることを狙ってきたこともあり、azbilグループの取組みには大いに賛同しており、今後できるだけazbilグループの動きと連携していきたいと思えます。また今回、人権関連に関してアドバイスを頂戴しましたが、弊社の経営に活用できる内容となっていることから、今後も継続して取り組んでいただきたいと思います。